

第3次丹波市総合計画策定に向けた 未来を描くアンケート調査結果 報告書

令和5年3月

丹波市

目次

実施目的	1
実施概要	1
調査結果	1
問 1 性別（単数回答）	1
問 2 年齢（単数回答）	2
問 3 居住地域（単数回答）	2
問 3-1 丹波市の印象（市内在住者）（単数回答）	3
問 3-2 丹波市とのつながりについて（市外在住者）（単数回答）	3
問 3-3 丹波市の印象（市外在住者）（単数回答）	4
問 4 まちづくりに重要な視点・キーワードについて（複数回答）	4
問 5 アンケートについての感想（単数回答）	5
問 6 意見を市に伝える方法で活用したい機会（複数回答）	5
“将来どんなまちになってほしいか”（抜粋）	6

実施目的

「第3次丹波市総合計画」策定に向けて、市民および丹波市に関わりのある方（在勤、在学、市外在住の丹波市出身者など）に対してまちづくり等に関するご意見やご意向を伺うための調査を実施しました。

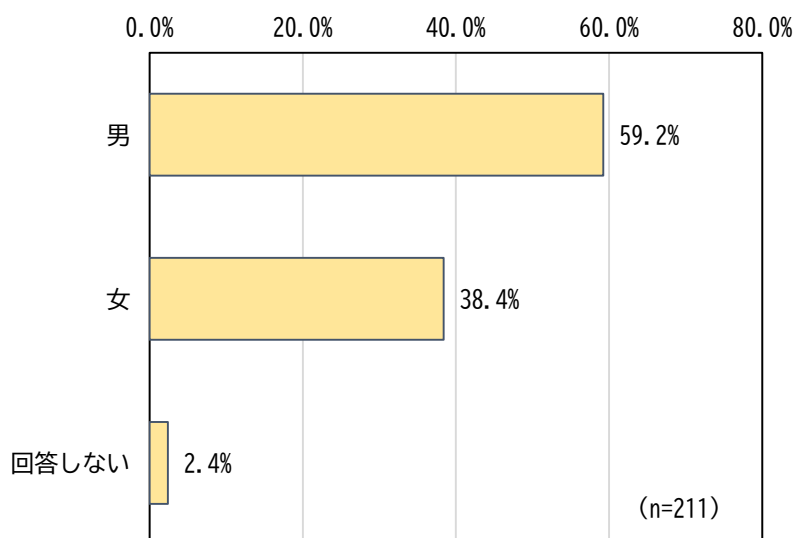
調査結果については、計画策定のための基礎資料とします。

実施概要

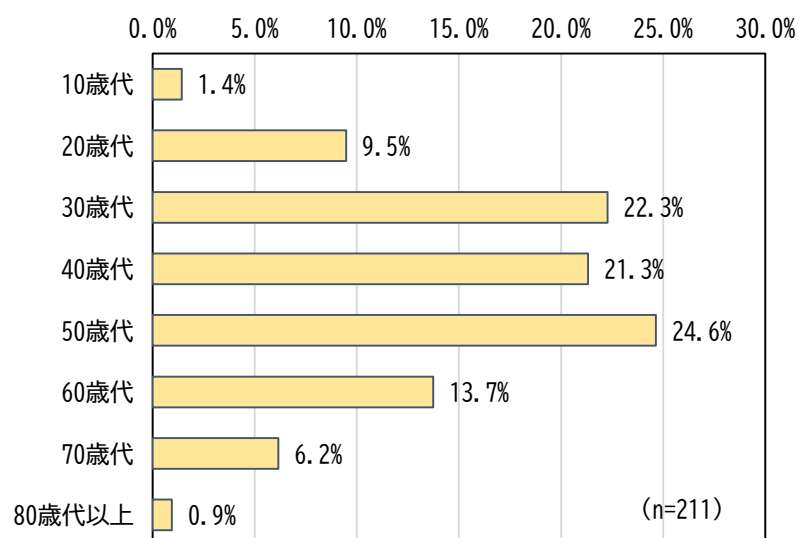
調査手法	インターネットによる調査
調査期間	2022年12月23日～2023年1月6日
回収数	211票

調査結果

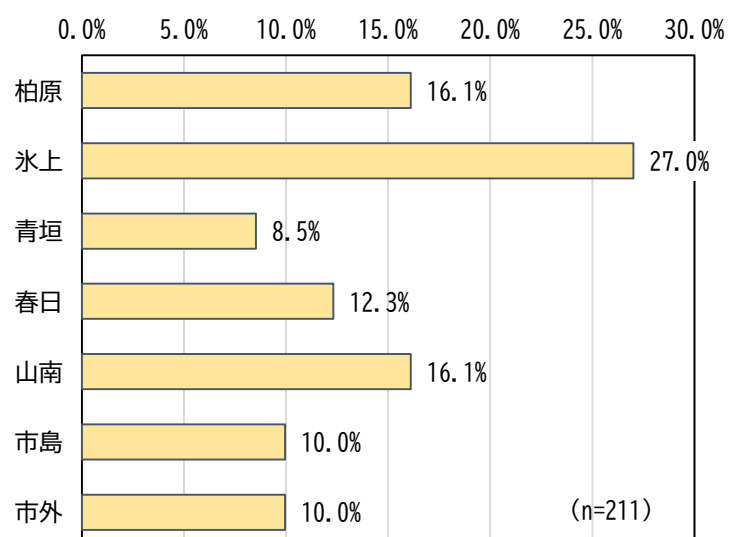
問1 性別（単数回答）



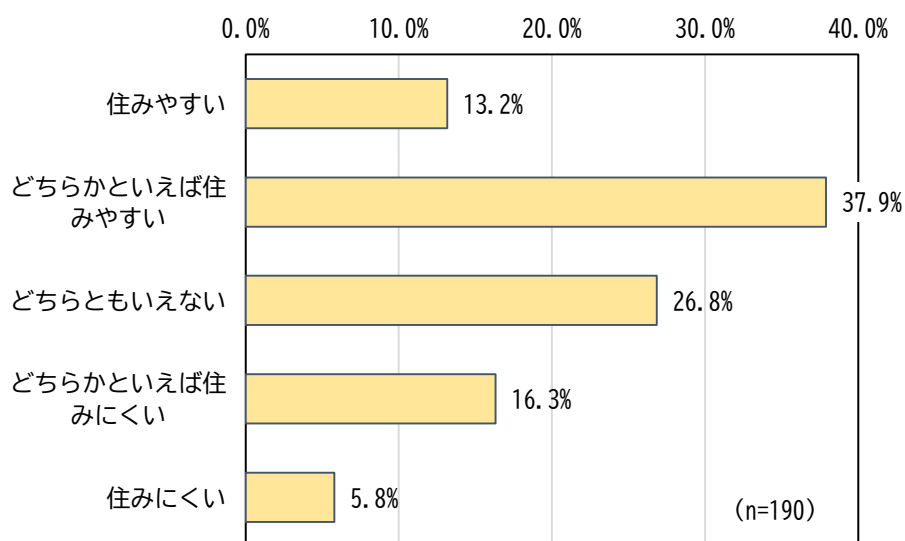
問2 年齢（単数回答）



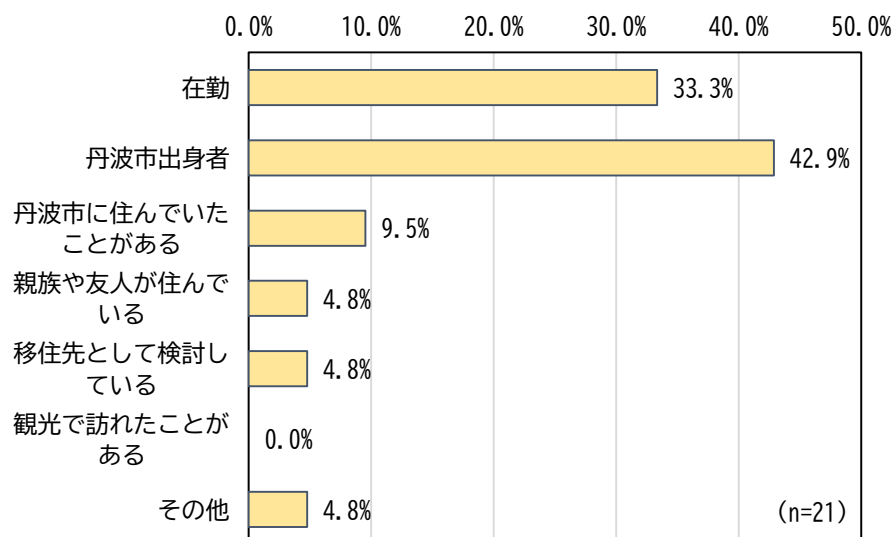
問3 居住地域（単数回答）



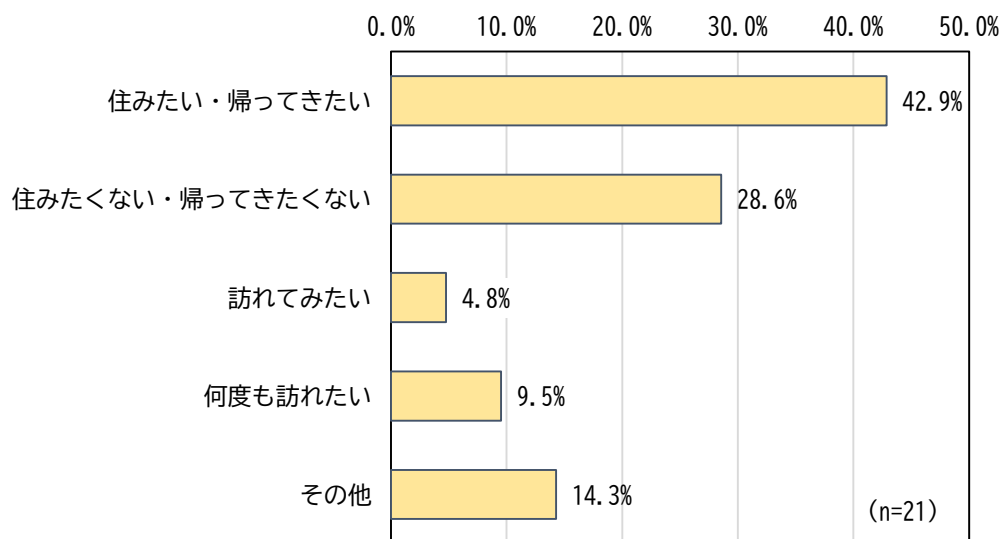
問 3 - 1 丹波市の印象（市内在住者）（単数回答）



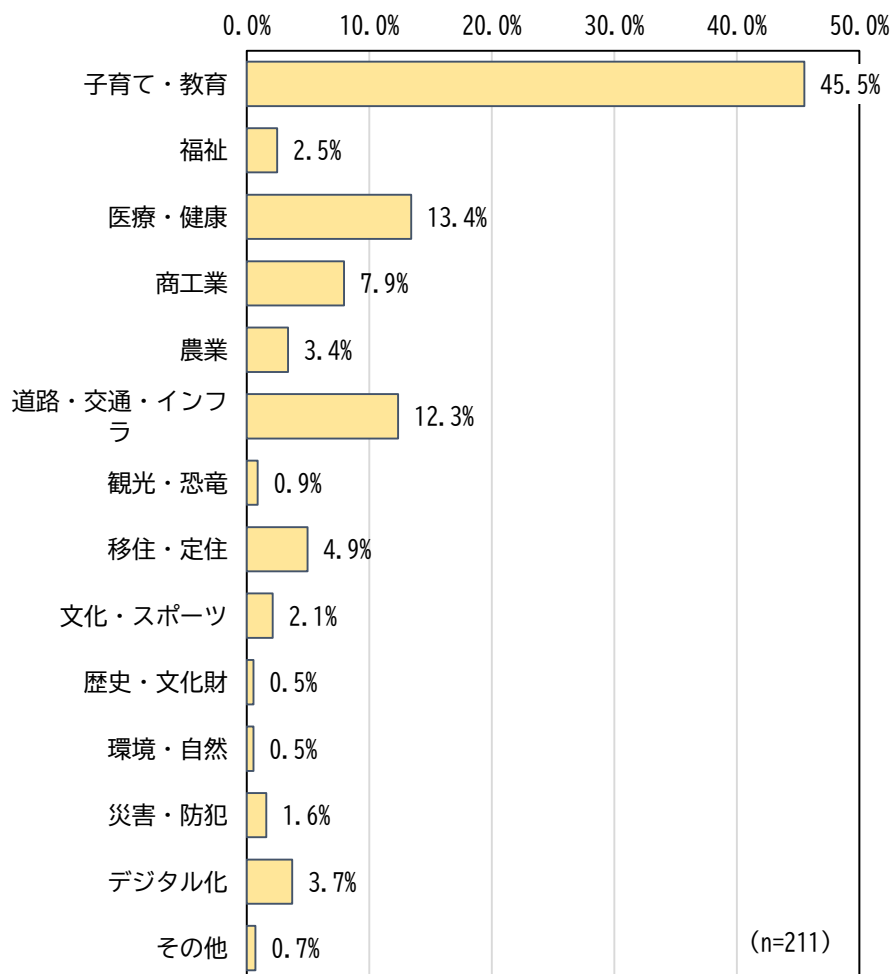
問 3 - 2 丹波市とのつながりについて（市外在住者）（単数回答）



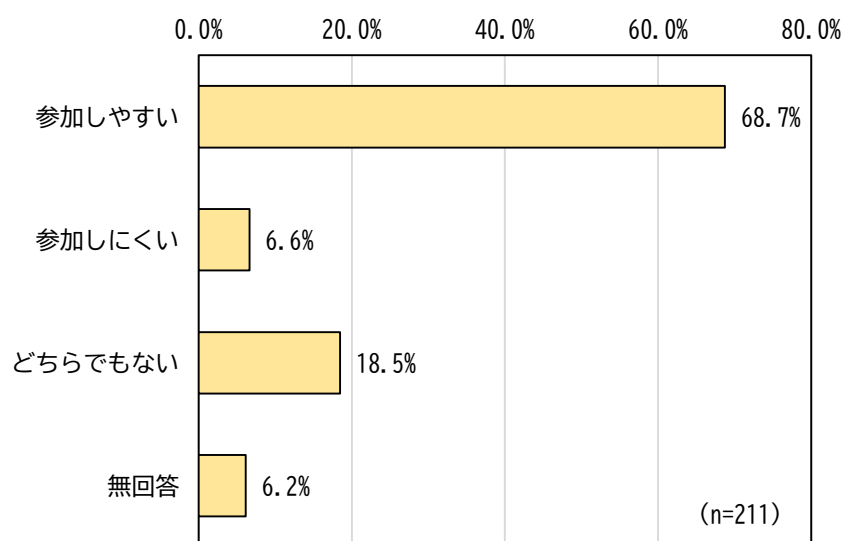
問3-3 丹波市の印象（市外在住者）（単数回答）



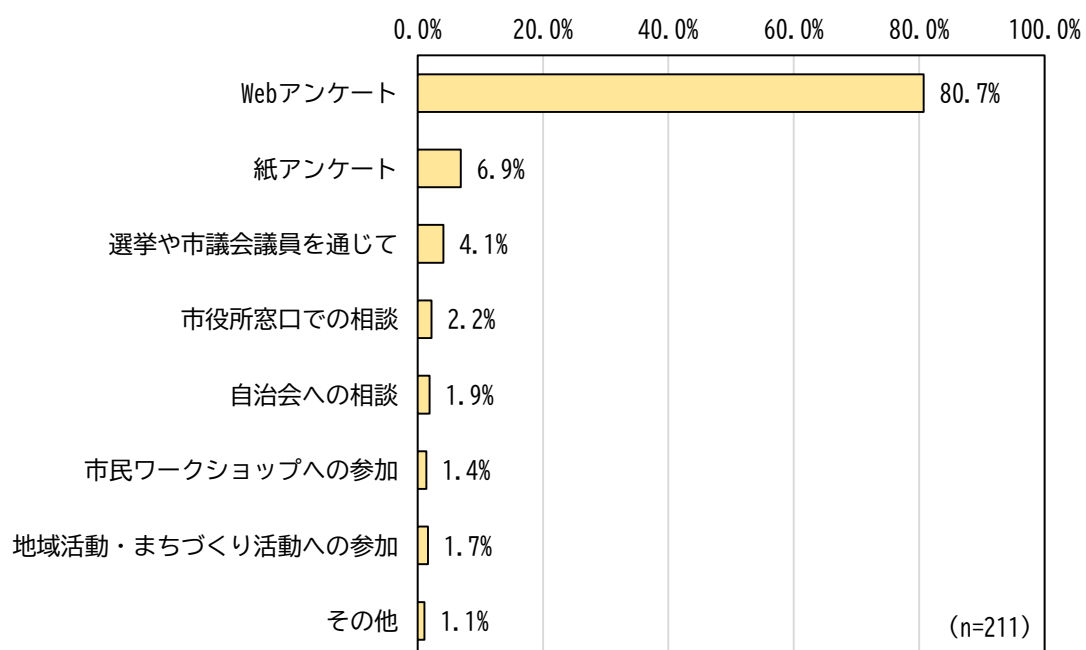
問4 まちづくりに重要な視点・キーワードについて（複数回答）



問5 アンケートについての感想（単数回答）



問6 意見を市に伝える方法で活用したい機会（複数回答）



“将来どんなまちになってほしいか”（抜粋）

下記は、アンケートにおいて「丹波市の今後のまちづくりを進めていく上で、あなたが特に重要と考える視点・キーワードは何ですか。」で選択していただいたキーワードそれぞれの“将来どんなまちになってほしいか”に記載していただいた文章を抜粋したものです。

【子育て・教育】

- 子育て世代が安心して暮らせるまちにして欲しい。
- 多様性のある教育が受けられるまちであってほしい。
- たくさんの公園があっていろいろな観察ができるまちにあってほしい。
- ここで子育てしたいと選ばれる街になってほしい。
- 子育て世代が、住みやすく安心して子どもを育てられるまち。
- 丹波で育った子供がずっと住みたいと思えるまち。
- どの地域より子育てしやすいまちになって欲しい。
- 暮らしやすくて子育てや働く人が安心して働けるまち。
- 子どもを産み、育てやすい市になってほしい。

【福祉】

- 高齢者や障害者が暮らしやすいまちになってほしい。
- もっと福祉サービスが充実してほしい。
- 誰一人取り残さないまちになって欲しい。
- 1人暮らしで生活できる体制を希望する。
- 仕事・子育てが安心してできる環境を整備してほしい。
- 高齢者に優しいまちになってほしい。
- 高齢者が気軽に利用出来るサービスの充実を願う。
- 交通機関が少なくデマンドも高齢者にとっては使いにくい。

【医療・健康】

- いつまでも医療センターが充実していてほしい。
- コロナの抗体検査ができる病院が増えてほしい。
- 訪問系通所系サービスの充実を望む。
- 夜間の救急外来の受け入れ体制を整えてほしい。
- 将来は高齢者のフレイル予防ができ、楽しく暮らせているまち。
- 農業を主軸として食に関心のあるまちになってほしい。
- 医療に困らないようになって欲しい。

【商工業】

- 安心して暮らすための安定した雇用先の確保。
- 神戸市などの阪神間に少しでも近い雰囲気になってほしい。
- 働く場所も多く、活気のあるまちになってほしい。
- 訪れたいくなるような魅力的な、商業施設の発展が必要だと思う。
- 一流企業の研究所を誘致し、高給な仕事があるまちを目指してほしい。
- 宿泊施設が充実したまち。
- 企業が支払う税金でまちが潤うようになってほしい。
- 商工業の支援を増やしてほしい。
- 事業者が都心部から多数移転して来て雇用が多いまち。
- 企業が増え若者が離れていかないまち。

【農業】

- 農業の効率化を図れるよう、設備投資に係る補助を手厚くしてほしい。
- 丹波市以外に住んでいて、丹波市を自慢できるようにしてほしい。
- 兼業農家ではなく、稼ぐことができる法人が農業で成功し、耕作放棄地が少ないまち。
- 積極的な支援と地の利を活かして農業のまち。
- 市を挙げて販売ルートを拡充してほしい。
- 農地が適切に維持されたまち。
- もっと全国に売り出せる仕組みを作って、農業が廃れてしまわないまち。

【道路・交通・インフラ】

- 移動手段が充実して生活できるまち
- 乗合タクシーの利便化。
- 各種出張サービスや日替わりの市内ループバス。
- 信号機は時間によって点滅など柔軟に変えて欲しい。
- 広くて車で走りやすい道があるまち。
- 新しい公共交通として、新しい施策を考えてほしい。
- 道路整備と交通機関の発展が必要だと思う。
- 石生駅もしくは柏原駅から和田山への鉄道延伸。

【観光・恐竜】

- ただ通過されるだけのまちであってはいけない。
- 観光客が増えて丹波市のお店が潤えばいい。
- 大自然を利用したアスレチックで訪れる人を増やす。
- 魅力ある観光資源を生かし、丹波市に行きたい！と思ってもらえるまち。
- 色々な地域や国々から丹波市に来て欲しい

【移住・定住】

- 丹波市に住みたいような家づくりができる環境を整備する。
- 移住者もまちの住民も明るく暮らせるまちになって欲しい
- 移住も大切だけれど、定住の方がもっと大切。
- 自然もあり、交通便でも不便のない丹波市になる必要がある。
- 若い移住者やリターン者が定住するまち
- 丹波市を良くするためには新しい施策に取り組むべき。

【文化・スポーツ】

- 工芸などの作家も住みやすいまちになって欲しい。
- 活気あるまちになってほしい。
- 子どもから参加できる文化イベントが充実したまち。
- 老若男女みんなで楽しんで暮らすことができるまちになってほしい。
- 県内でも飛び抜けて、スポーツ大会が行われる市になってほしい。
- 本腰を入れて振り切ることができる取組が大事。

【歴史・文化財】

- 自治会館の傍の建勲神社、街中に無人の武家屋敷がある。
- 史跡を大切にしておいて、観光に活かす。
- 観光客が沢山来て、古い町並みが遺されたまち。
- 昔風の整然とした街並みを活かしたまち。
- 骨太方針規制強化を図る。

【環境・自然】

- 自然環境をしっかりと保全し、住みやすいまちづくりをしてほしい。
- 子供達が安全に自然環境の中に入って遊べるようにしてほしい。
- 災害にも結びつくので、山の手入れを市でやって欲しい。
- ゴミの徹底分別など、ゴミ問題教育が必要だと思う。
- 誰もが楽しめる公園やゆっくり集える場所を増やしてほしい
- 太陽光発電などの新エネルギーに関する開発が自然や生物多様性に配慮して行われているまち。

【災害・防犯】

- 大雨や雪に強いまちであってほしい。
- 災害に強いまちになれば良い。
- 安全に暮らせるまちづくりをしてほしい
- 災害が起きても直ぐに救護できるように備えられるまち。
- 竹田川の氾濫による水害対策を施されたまち。
- 企業といっしょになって災害に強いまちづくりをすすめてほしい。

【デジタル化】

- コンビニなどで必要書類を高齢者でも簡単に入手できる社会。
- 市役所に関する手続きが基本的にすべてオンラインで行えるようになっている。
- 手間を減らしてシンプルに簡単に手続きができるようにしてもらいたい
- あらゆる手続きや支払いをスマホひとつあれば出来るようにして欲しい。
- マイナンバーカードを活用して補助金を受けられたり、決済ができる。
- 市民、事業者が手続きの手段として積極的にオンラインを選択しているまち。
- 大阪・京都・神戸に近く、デジタルを活用した暮らしやすいまち
- ワークションの拠点になるような、仕事も遊びも充実できるようなまち。

【その他】

- グローバル化、多様化に流されない丹波市。
- 不便でも、あたたかさや助け合いがあるまち
- 市民が丹波市を一つのまちとして強く認識し、自慢できまちになって欲しい。
- 今、挑戦しなければ、子どもに、丹波市に住むことをすすめる要素は見当たらない。
- 市民主体の学びの場が当たり前の状況であり、それをデザインする社会教育士などのコーディネーターと市民がともに活躍できる社会。
- 丹波市の発展は、行政が現状を正確に認識し、他の市郡の後追いではなく、野心的に進歩的な施策を実施する事が望ましい。

